

流山市行財政改革審議会
会 長 寺澤 眞 様

流山市長 井崎 義治



諮 問

本市が、行政経営をより一層効率的かつ効果的に推進していくため、下記の事項について諮問します。

記

1 諮問事項

次期定員適正化計画について

2 説明

本市は、都市基盤整備や子育て世代をターゲットとした取組などで人口が増加傾向にあります。しかしながら、日本の総人口が減少している中、本市においても平成37年を境に人口が減少に転じると推測しています。また、高齢化の進展などによる社会保障費の増加や人口減少による税収の減少などにより厳しい財政状況が想定されています。そのため、人件費の抑制策の一つとして定員適正化計画を策定して、効率的な人員配置、組織機構の見直し、民間企業等への業務委託、再任用職員・臨時職員等の活用などによって職員数の削減を行ってきたところです。

今後、国の制度変更に伴う対応やファシリティマネジメントによる老朽化している公共施設の対応、子育て世代をターゲットとした取組、また、地方分権改革に伴う権限移譲による事務の増加が思料されます。

こうした状況の中、適正な職員数で引き続き行政サービスの水準の維持・向上していくために、次期定員適正化計画について審議会に諮問するものです。